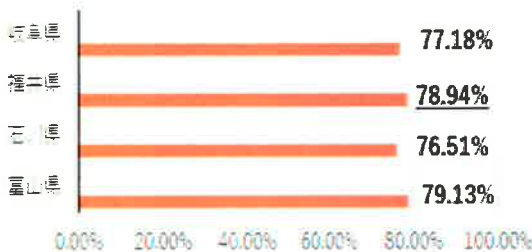




最新 茜会 新型コロナウイルスワクチン接種状況

日本での新型コロナウイルスの猛威が、11月に入り収まってきたように感じられます。しかし、海外では感染の再拡大の動きもあり、まだまだ油断はできません。3回目のワクチン接種も始まる予定ですが、これまでの茜会のワクチン接種状況について改めてご紹介します。

【北陸】ワクチン接種 全人口に
占める割合(2回目)(11/14時点)



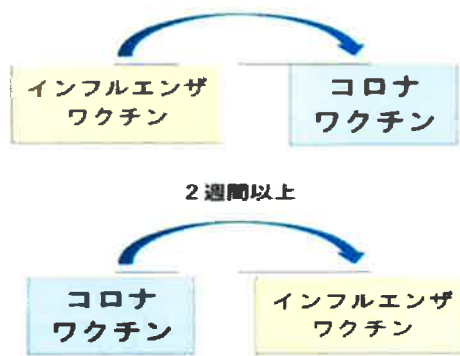
11月14日時点で公表されている情報によると、福井県では全人口の78%以上の方が2回目のワクチン接種を終えています(左図)。この割合は極めて高く、福井県民の新型コロナウイルス予防への積極性がかがえます。当院でも、今年の春から新型コロナウイルスワクチン接種を行ってきました。ワクチンの予約が開始されると、予約の電話がひっきりなしに鳴り、対応に追われる日々でした。

当院では、今年の4月から11月初旬までに、1万2547名のワクチン接種を行いました。年代別に分けると、65歳以上の高齢者の方が4697名と半数を超え、次点で40〜50代の方が2977名、20〜30代の方が2006名、未成年の方が1159名、60〜64歳の方が685名、医療従事者が905名、基礎疾患をもつ方が118名の内訳になります。

また、坂井市在住者で1回目のワクチン接種を終わらせただ方のうち、当院で接種した方は6437名、2回目のワクチン接種を終わらせた方のうち、当院で接種した方は5872名です。割合はそれぞれ坂井市の全接種者の約1割になります。たくさんの方に接種を行い、スムーズな接種を行うことができるようになりました。3回目の接種の際にも、当院スタッフ一同、経験を生かして速やかなワクチン接種に努めます。

続いて、これからのワクチン接種についてですが、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンの両方をこの冬に受けようと考えて

2週間以上



いる方は、2種類のワクチンの間に、2週間以上の間隔が空いているか注意しながら予約を取ってください。

新型コロナウイルスワクチンの副作用は、接種した腕の痛み・かゆみ、発熱が主なものです。副作用の出方には個人差があり、熱がまったく出ない人、中には何日も発熱が

若い接種者の中には、初めて接種するワクチンへの緊張のせい、接種前後に気分が悪くなる方もいました。ワクチン接種前日はしっかり休息を取って、できるだけリラックスした状態でお越しください。当院には静養室を備えていますので、万が一の場合には休むこともできます。少しでも体調に異変や不安を感じたら、遠慮せずに看護師や医師に伝えてください。

2つのワクチンは、間隔を空けて

これから冬になると、インフルエンザをはじめとする感染症が猛威を振るう季節になります。ワクチンを打っても病気になる可能性は少なくありません。そこで改めて、マスクが正しく着用できているか、チェックしてみてください。ノーズワイヤーと内側のひだが顔にフィットして、鼻・口・顎が隙間無く覆われているでしょうか？マスクがきちんとできていないか、いかに感染症が広まる確率は減らすことができます。手洗い・アルコール消毒も欠かせません。一人一人が体調管理を心掛け、病気に負けない体を作りましょう。